



西粟倉小学校だより

No. 4

令和7年7月9日（水）



いよいよ7月です。今年は、早くから梅雨が明け、毎日、真夏のような天気が続いています。今年の夏は長くなりそうです。児童の健康管理に日々、神経をとがらせています。さて、1学期も終わりが見えてきました。この時期は、いろいろな視点からの振り返りが行われる時期です。

子どもたちには、学級目標面、個人目標面、授業面、家庭学習面、係活動面、委員会・クラブ面、行事・集会面などにおける振り返りが必要になってきます。

教職員においては、学校全体のカリキュラム面、学校運営面、学級経営面、授業改革面、組織面、研修面等、幅広い視座からの振り返りを行うようになります。

これらを振りかえり、良いところは継続したり、さらに伸長するための取り組みを考えたりしなければなりません。また、改善点があれば、修正のための検討をしていきます。

こういったことを話し合うには、現状分析が必要であり、そのためにも、じっくりと振り返りに取り組む必要があります。

本校が進める「わがごとプロジェクト」で育てる子ども像に近づけるために、みんなで1学期のまとめをしていこうと思います。

さて、来週には終業式があり、いよいよ夏休みです。2学期の始業式には元気な全員の顔がそろふことを祈っています。



励ましのお言葉をいただきました

先日、美作警察署の署長さんを始め、警察署の職員3名の方々が来られ、朝のあいさつ運動をしてくださいました。その折に、署長さんから、「西粟倉小学校のお子さんは、よく挨拶をしますね」とお褒めの言葉をいただきました。「ありがとうございます。そう言っていただくと、子どもたちも喜んでくれると思います。でも、まだまだです。これからもあいさつ運動を行って、あいさつの輪を広げていきます」とお応えしました。

また、水泳指導でお世話になった森田さんに同行されていた友光さんからは、「西粟倉小学校のお子さんはとっても主体性が感じられますね」と言ってくださいました。「ありがとうございます。そう言っていただくと、子どもたちも喜びます。でも、まだまだこれからです。これからも主体性の輪を広げていきます」とお応えしました。

どちらも、満足のいく領域まで達成されてはいません。これからの継続の先に、見えてくるものがあると思っています。しかし、その途中であっても、こういった評価をいただけることは、我々の励みになります。ありがたいお言葉に感謝です。

授業参観、救急法講習会、地区懇談会とお世話になりました

6月10日(火)の参観日と救急法講習会、27日(金)の地区懇談会と、保護者の皆様には次々に学校へお越しくださり、ありがとうございました。参観・参加者も多く、どの会も充実したものになりました。

また、こういった機会に子どもたちの様子を共有することは、学校としても、また、保護者の皆様にとっても大切であると考えます。お忙しいとは存じますが、今後とも機会あるたびに学校へお越しく下さい。

授業における「わがごと」



5年生の算数の授業です。めあてには、「重ねずに」とあります。つまり、これまでの学習で、2つの図形を重ねることで合同な関係証明したのでしょうか。しかし、今回は、その方法を使わずに証明しなければなりません。

ここに、子どもたちの「あれ？」が生じます。しかし、何とか証明したいという思いは沸き上がります。何か方法がないか。そう考え始めた段階で、この算数の問題は、子どもたちにとって解いてみたい「わがごとの課題」になっているのです。

右は、4年生の算数の授業です。授業の途中で、「4.384」の4は何の位かと尋ねられた一人の子どもが、「1000分の1の位」と答えました。

しかし、別の子は、「1の位」と言いました。同じ数字の4でも、位置によって1単位量の大きさが変わります。

では、それぞれの位における1単位量の大きさには、どのような関係があるのでしょうか。子どもたちは、整数の10進法が小数でも使えることを活用しながら、小数の位の関係を考え始めました。

子どもたちと勉強していると、思わぬところで子どもたちの中から疑問が生まれることがあります。そこを逃さず、子どもたちによる話し合いに導いたことで、この課題が「わがごと」となりました。

